

のぞみふくいニューズレター

第37号 (H23年初冬号)



(財) がんの子供を守る会 福井支部 発行

TEL・FAX 0776-22-5132

Email nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp

本部 URL <http://www.ccaj-found.or.jp/>

支部 URL <http://www3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/>

今年もあと1ヶ月。師走に入りました。11月は25℃を超える日もあるなど、紅葉も遅く、暖かい冬の始まりでした。今日、12月1日全国的にとっても寒い一日でした。福井も雪がまもなく降るかもしれません。師走のちまたは華やいています。私は、毎年憂鬱の月でもあります。息子が亡くなった月なので、体がその気候になると覚えていて、そのときの事を思い出すのでしょうか。もう亡くなって9年。あっという間です。早いものです。。

冬の到来で、マイコプラズマとか、感染症がはやってきているとか。お気をつけください。

本年も、のぞみ福井にご支援ご協力いただきまして、ありがとうございました。

日本が、未曾有の災害にあった今年。改めて、命、家族、人生を考えさせられた年でした。来年こそはいい年でありますよう。飛翔の辰年になりますように。。(文責：代表幹事)

12月、1月の活動予定

★12月11日(日) 坂井地区で、ピアカウンセリング会を開催いたします。

午後1時30分～4時 坂井市春江町 ハートピア春江 202.203 会議室にて。経験者、家族の交流会と、子どもを亡くした家族の交流会をいたします。

★1月20日(木) 福井県立病院3階 難病支援センターにて、

小児難病の患者さんのための教育相談会と、がんの子どもを守る会のピアカウンセリングを同時開催いたします。

初めてでも大丈夫です。誰かにお話しすることで、楽になります。聞く相手は、同じ経験をした仲間です。

どちらも参加無料。皆様お気軽にお越しください。

11月26日(土)ピアカウンセリング研修会に参加しました。

岐阜県難病患者在宅療養応援員で、NPO ぎふ音楽療法協会のお二人の方によるご講演と、実際に歌ったりしての実践研修でした。岐阜県の難病患者のサポートのしくみ、『応援員事業』はいいと思いました。どのような仕組みかということ、県の研修を受けた、応援員が、在宅の難病患者家族に対する援助をマンツーマンで行うために派遣されるというものです。応援員は、悩みや不安を聞き、励ましたり、情報を提供するということを基本に、それぞれのケースに応じて支援をします。保健師、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、音楽療法士等の専門の方や患者本人、一般のボランティアの方もいらっしゃるということです。引きこもりがちな難病患者さんに、外の空気を感じてもらい、心を開放させ、生きる力を前向きに導く助けをするということです。

11月12日(土)福井大学病院がん体験者の会『みのり会』に参加しました。

大人のがん患者会に行ってきました。子どものがんも福井大学病院で治療していただいていることを知ってもらい、今後、病院での小児がん患者会が出来ればいいなと思ったからです。精神科の西本先生による「サイコオンコロジー」についてのご講演も興味がありました。心の研究サイコロジーと、がんの研究オンコロジーを足した造語で、精神腫瘍学という意味だそうです。がんが患者に与える精神的影響と、精神的因子が、がんにどのような影響が出るかの研究だそうです。今後、大人も子どもも、がん治療において、精神腫瘍科という分野のお医者様や、がん専門ソーシャルワーカー、がん専門臨床心理士などのがん専門のスタッフが、がん患者の精神的ケア(患者本人の不安抑うつ、せん妄、家族のケア、遺族のケア)に取り組むことが望ましいということです。これからは、エンパワーメントアプローチ=患者様と一緒に最善策を考える治療が必要だと、ということです。